



FPC

株主のみなさまへ
第23期 中間報告書

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日



富士石油株式会社

証券コード：5017



ご挨拶

株主のみなさまには平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第23期中間報告書(2024年4月1日～9月30日)をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

さて、この上半期を振り返りますと、日本を含め世界で発生している異常気象からも、気候変動は確実に進んでいるとの印象を受けています。気候変動抑制に向けて脱炭素は待ったなしであり、そのための2050年がゴールと決まっているカーボンニュートラルを当社も挑戦し実行しなければなりません。

一方で政治的要因や地政学的要因等により、エネルギーを取り巻く情勢は時々刻々と変化していますが、当社は石油会社としてトランジション期における製品の安定供給にいかなる場合も万全を期していかなければなりません。

これらの2つの使命を確実に果たすため、当社は本年4月に**出光興産株式会社**と**燃料油事業**における協業深化と将来の脱炭素化に向けた取り組みを推進していくことを目的に**資本業務提携**に関する合意書を締結いたしました(詳細は5ページをご参照ください)。

当社はこの**資本業務提携**を契機として、**製造・供給の効率化、競争力の強化を進めるとともに、次世代カーボンニュートラル燃料の旗艦供給拠点としての機能発揮**など事業環境の変化を先取りした**事業展開と持続可能な成長**を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き**当社グループ事業へのご理解と、今後の事業発展に向けた長期的なご支援、ご鞭撻**を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

目次

株主のみなさまへ	1
営業の概況	2
連結決算ハイライト	3
連結財務諸表	4
TOPICS	5
グループ概要	6
会社概要	7
株式の状況	7
株主メモ	8

FOC 代表取締役社長 社長執行役員 **小本 重人**

営業の概況

当上半期におけるドバイ原油価格は、期中平均では約81ドルとなりました。為替相場の期中平均ドル/円レートは152円台後半となりました。

袖ヶ浦製油所での原油処理量や当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、前年に実施した小規模定期修理の影響解消により前年同期比で増加となりました。

当上半期の業績につきましては、売上高は、販売数量の増加等により、前年同期比1,074億円増収の4,271億円となりました。損益につきましては、在庫影響（総平均法及び簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響）が125億円の原価押し上げ要因（前年同期は90億円の原価押し下げ要因）と前年同期比で反転したことなどにより、営業損失は145億円となりました。経常損失は、持分法による投資利益11億円を計上したことなどから、136億円となりました。親会社株主に帰属する中間純損失は、子会社株式売却損11億円を計上したことなどにより、161億円となりました。

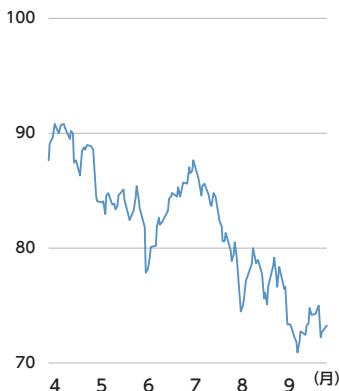
販売実績

(単位：千キロリットル)

	2023年度上半期	2024年度上半期	前年同期比
原油処理量	3,127	3,896	125%
製品販売数量	3,276	4,057	124%
ガソリン	1,012	1,241	123%
ナフサ	150	167	112%
灯油・ジェット燃料	569	714	126%
軽油	709	965	136%
A重油	134	94	70%
C重油	161	232	144%
ベンゼン・キシレン	182	223	123%
石油ピッチ・その他	360	421	117%

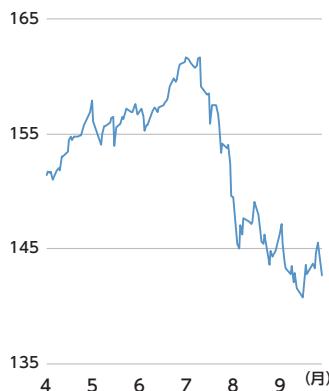
ドバイ原油価格

ドル/バレル



為替レート

円/ドル



売上高

4,271億円
(前年同期比 1,074億円増収)

営業損失

145億円
(前年同期比 268億円減益)

経常損失

136億円
(前年同期比 272億円減益)

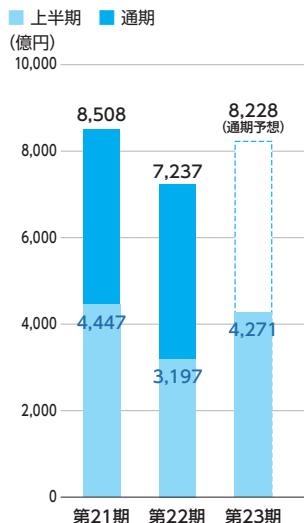
親会社株主に帰属する 中間純損失

161億円
(前年同期比 273億円減益)

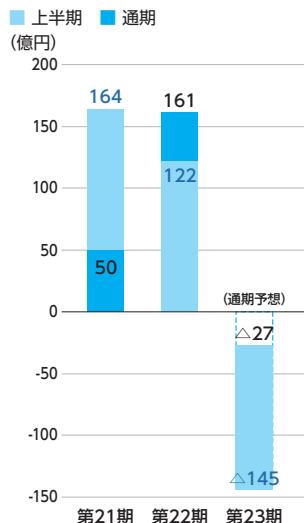
	2023年度上半期	2024年度上半期
ドバイ原油価格(ドル/バレル)	82.2	81.8
為替レート(円/ドル)	141.1	152.8

連結決算ハイライト

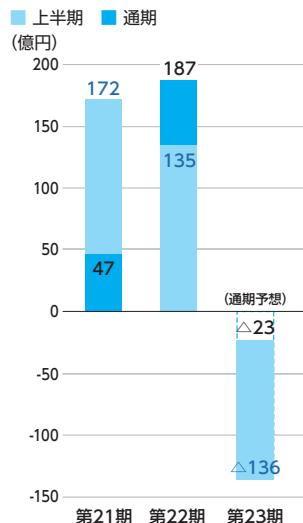
売上高



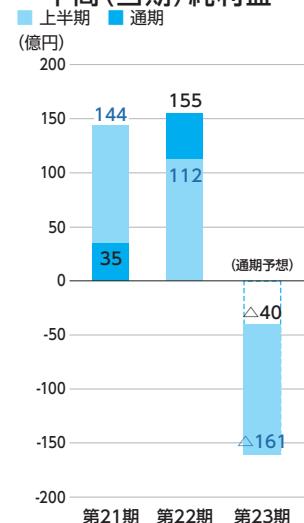
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



通期連結業績見通し

第23期見通しのポイント

最近の業績動向を踏まえ、連結業績予想を作成しました。

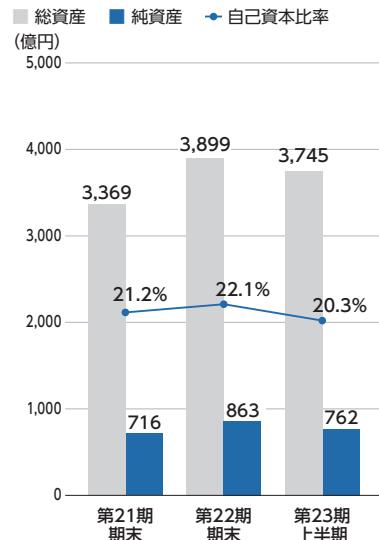
見通しの前提

原油価格(ドバイ原油)：下期75ドル/バレル
為替レート：下期140円/ドル

業績

売上高は8,228億円(前期比990億円増収)となる見通しです。また、損益につきましては、営業損失27億円(前期比188億円減益)、経常損失23億円(前期比210億円減益)、親会社株主に帰属する当期純損失40億円(前期比195億円減益)となる見通しです。

総資産/純資産/自己資本比率



通期連結業績見通しに関して
通期連結業績見通しにつきましては、2024年11月8日時点において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により見通しと異なる場合があります。

通期予想

売上高 8,228億円

経常損失 23億円

親会社株主に帰属する
当期純損失 40億円

連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表

(百万円)

科目	当中間期末 (2024年9月30日現在)	前期末 (2024年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	244,663	261,690
固定資産	129,934	128,269
資産合計	374,598	389,960
負債の部		
流動負債	259,112	263,222
固定負債	39,223	40,387
負債合計	298,336	303,609
純資産の部		
株主資本	64,820	82,090
その他の包括利益累計額	11,233	4,064
非支配株主持分	208	194
純資産合計	76,262	86,350
負債純資産合計	374,598	389,960

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科目	当中間連結会計期間 (2024年4月1日 ~2024年9月30日)	前中間連結会計期間 (2023年4月1日 ~2023年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△10,222	△1,318
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,900	△1,632
財務活動による キャッシュ・フロー	12,007	3,123
現金及び現金同等物に係る 換算差額	322	212
現金及び現金同等物の 増減額	△791	384
現金及び現金同等物の 期首残高	9,568	8,329
現金及び現金同等物の 中間期末残高	8,776	8,714

■ 中間連結損益計算書

(百万円)

科目	当中間連結会計期間 (2024年4月1日 ~2024年9月30日)	前中間連結会計期間 (2023年4月1日 ~2023年9月30日)
売上高	427,190	319,711
売上原価	438,997	305,061
売上総利益又は売上総損失(△)	△11,807	14,649
販売費及び一般管理費	2,763	2,399
営業利益又は営業損失(△)	△14,570	12,250
営業外収益	2,412	2,548
営業外費用	1,523	1,232
経常利益又は経常損失(△)	△13,681	13,566
特別利益	5	9
特別損失	1,834	5
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△15,510	13,570
法人税、住民税及び事業税	42	1,822
法人税等調整額	585	526
中間純利益又は中間純損失(△)	△16,139	11,220
非支配株主に帰属する中間純利益	18	11
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△16,157	11,209



出光興産株式会社との資本業務提携

本年4月、当社は出光興産株式会社と資本業務提携に関する合意書を締結いたしました。両社は京葉臨海コンビナートに製油所を有しており、両製油所は首都圏の一大消費地に向けた石油製品・石油化学製品の迅速な供給ルートを持続するのみならず、海外に向けた輸入・輸出ルートも確保しています。今後石油製品に対する国内需要の減少が見込まれることに加え、脱炭素化への取り組みの進展等により事業環境はより一層厳しいものになると予想されますが、両製油所を起点とした更なる両社の協業深化による石油製品の製造・供給の効率化・競争力強化、次世代カーボンニュートラル燃料の旗艦供給拠点としての機能発揮に向けて、以下に取り組んでまいります。



▲記念式典で握手をする出光興産の木藤社長(左)と富士石油の山本社長(右)

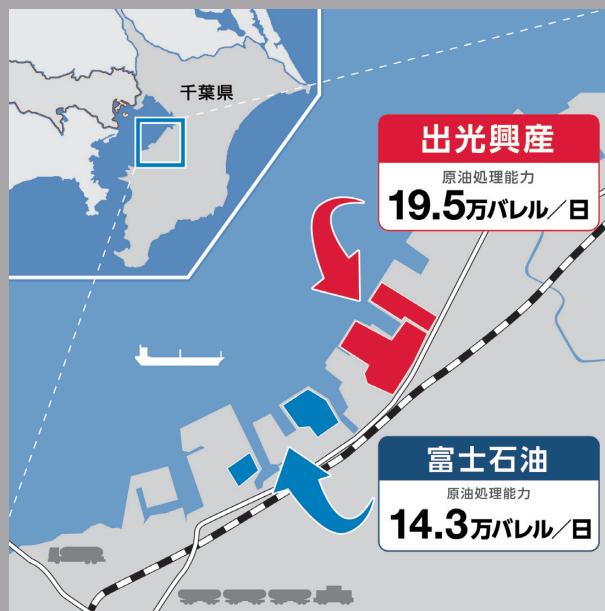
【業務提携の取り組み】

原油及びナフサの
調達・配船業務の共同化

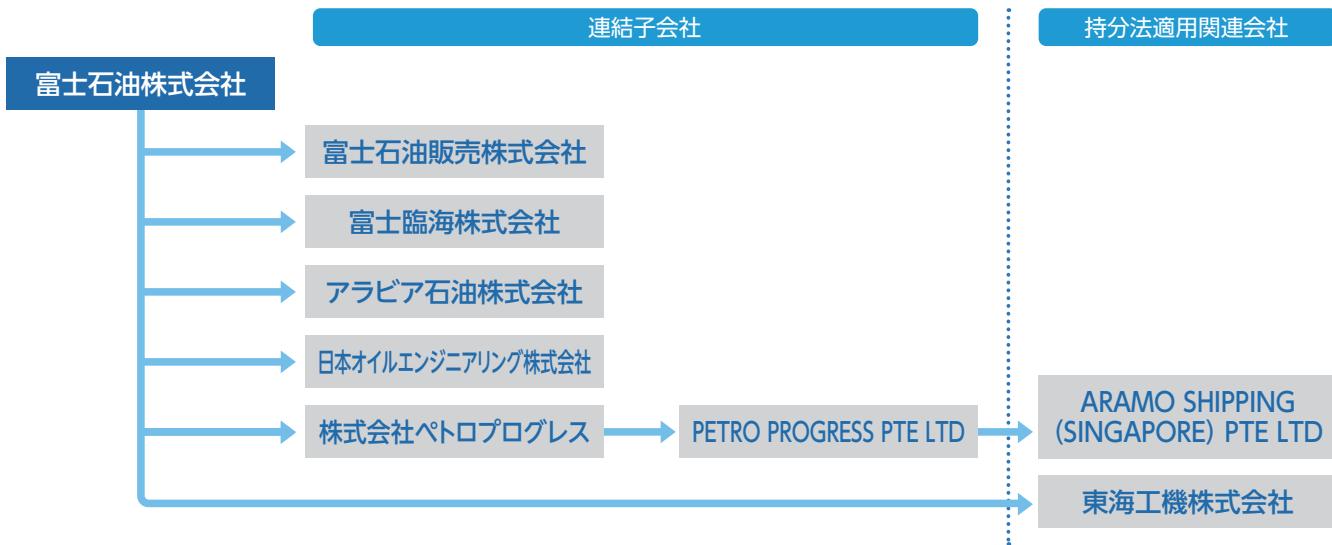
定期修理工事(SDM)の共同管理化
(SDM時期の最適化、SDM期間の人員融通等)

その他両社の利益最大化に
資するシナジーの検討

次世代カーボンニュートラル燃料の
供給拠点化に向けた投資検討



■グループ企業図



会社名		所在地	資本金	出資比率(%)	主要な事業内容
富士石油販売株式会社	※1	東京	100百万円	100.0	石油製品の販売・納入代行、保険代理店業務
富士臨海株式会社	※1	千葉	10百万円	85.0	海上防災、原油・石油製品の出入荷、産業廃棄物の収集運搬、太陽光発電
アラビア石油株式会社	※1	東京	100百万円	100.0	石油開発プロジェクト関連の資産管理等
日本オイルエンジニアリング株式会社	※1	東京	100百万円	100.0	石油・ガス・その他エネルギーの開発・生産・環境対応に関するエンジニアリング、コンサルティング
株式会社ペトロプログレス	※1	東京	100百万円	100.0	原油・石油製品の調達、販売等
PETRO PROGRESS PTE LTD	※1	シンガポール	34百万シンガポールドル +733千米ドル	(100.0)	海外における原油・石油製品の調達、販売
ARAMO SHIPPING (SINGAPORE) PTE LTD	※2	シンガポール	20,742千米ドル	(50.0)	原油タンカー・LPGタンカーの保有、運航
東海工機株式会社	※2	千葉	40百万円	40.0	各種プラントの建設・保全等

※1 連結子会社 ※2 持分法適用関連会社

(注) ()は当社の間接出資比率です。

会社概要 (2024年9月30日現在)

商号 富士石油株式会社
 (英文商号 Fuji Oil Company, Ltd.)
設立 2003年1月31日
資本金 24,467百万円
従業員数 単独493名 連結675名
本社 東京都品川区北品川六丁目7番29号

役員

代表取締役社長 山本重人
 社長執行役員 川畑尚之
 代表取締役常務執行役員 岩本巧
 取締役常務執行役員 津田雅之
 取締役執行役員 渡邊厚夫
 社外取締役 前澤浩士
 社外取締役 山本順三
 社外取締役 佐藤良
 社外取締役 ムハンマド・シュブルーミー
 社外取締役 ハーリド・サバーハ
 社外取締役 坂本倫子

専務執行役員 山本孝彦
 常務執行役員 寺尾健一
 執行役員 石塚俊哉
 執行役員 比佐大
 執行役員 平野雅洋
 執行役員 今井大樹
 執行役員 中山元宏
 執行役員 佐藤尊彰
 常勤社外監査役 藤澤知穂
 社外監査役 富井聡
 社外監査役 久保田浩司
 社外監査役 金井睦美
会計監査人

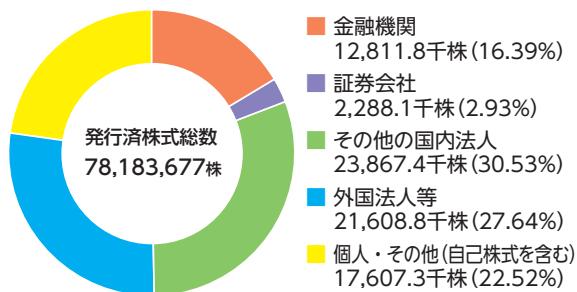
有限責任あずさ監査法人

株式の状況 (2024年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 200,000,000株
 発行済株式総数 78,183,677株
 株主数 17,019名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
出光興産株式会社	17,035.5	22.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,581.3	9.79
クウェート石油公社	5,811.3	7.50
サウジアラビア王国政府	5,811.3	7.50
日本郵船株式会社	2,750.8	3.55
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	1,833.6	2.36
ENEOSホールディングス株式会社	1,350.0	1.74
小山 匡	1,334.7	1.72
日本航空株式会社	1,034.6	1.33
JP JPMSE LUX RE J.P. MORGAN SEC PLC EQ CO	950.0	1.22

(注) 持株比率は発行済株式総数から自己株式(788.3千株)を除いて計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先及び 電話照会先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-288-324
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 https://www.foc.co.jp/

富士石油株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川六丁目7番29号 ガーデンシティ品川御殿山
TEL 03-6277-2891 FAX 03-6277-2919
ホームページアドレス <https://www.foc.co.jp/>

特別口座に記録された株式を お持ちの株主様へ

証券会社等の口座にて管理されていない株式は、当社がみずほ信託銀行株式会社に開設した口座(特別口座)に記録されております。

特別口座に記録されている株式の売買等を行うためには、一旦株主様ご本人名義の証券会社口座※に振替手続きを行っていただく必要があります。

なお、振替のお手続きには、みずほ信託銀行株式会社宛に「口座振替申請書」のご提出が必要となります。詳しい情報は、みずほ信託銀行株式会社のホームページをご覧ください。フリーダイヤル(0120-288-324)にお問い合わせください。

※ 口座をお持ちでない株主様はあらかじめ証券会社で口座開設のお手続きを行ってください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。